

1997年12月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

500 hPa 高度は、カナダ、スカンジナビア半島付近及び日本付近に正偏差が見られた。偏西風は北米大陸上で平年よりも南に偏って強かった。成層圏ではアリューシャン高気圧が強く、波数1の偏差パターンが顕著だった。熱帯の対流活動は、日付変更線より東の太平洋とアフリカ大陸東部からインド洋西部にかけて平年より活発であり、インド洋東部から海洋大陸付近にかけて不活発だった。200 hPa における大規模な発散域は中部熱帯太平洋とインド洋西部に見られ、太平洋の発散域は平年より約50度東に偏っていた。850 hPa の赤道上の風は、中部および東部太平洋で西風偏差となった。SOI は-0.9であった。

世界の天候

① アジア南部の高温

アジア南部の月平均気温はインド北西部で低く、その他の地域で高くなった。タイのナコン・ラチャシーマーで26.7°C（平年差+3.5°C）。また、フィリピンやインドネシア東部では干ばつの被害が伝えられた。

② マダガスカル周辺の高温

アフリカ大陸での月平均気温は高い所が多く、特にマダガスカル周辺で高温となった

③ **カナダ中部・アメリカ合衆国中西部の高温・少雨**
カナダ、アメリカ合衆国北部、カリブ海で月平均気温が高く、アラスカや合衆国南部で低くなった。中旬にメキシコで寒波による被害が報じられた。

④ アメリカ合衆国南部の多雨

合衆国南部で多雨、カナダ南部、合衆国北部で少雨となった。合衆国カンザス州のドッジシティで66 mm（平年比429%）、カナダのエドモントンで1 mm（平年比4%）となった。

⑤ 南アメリカ北部の高温

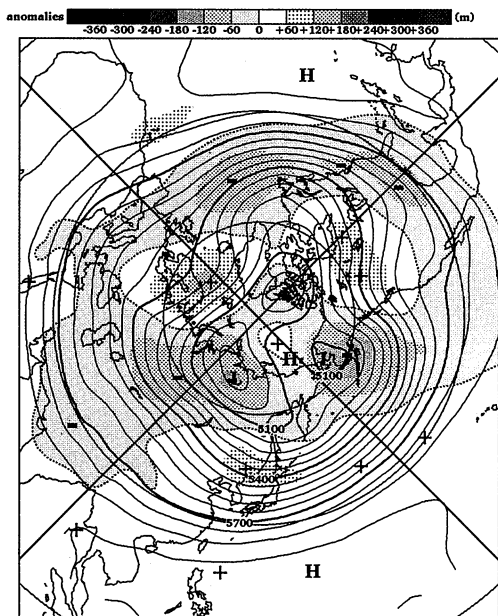
⑥ アルゼンチンの多雨

南アメリカ北部では高温となった。アルゼンチンで多雨、ベネズエラなどでは少雨となった。アルゼンチンのプエトロデセアドで86 mm（平年比601%）。エクアドルやペルーでは洪水による被害が伝えられた。

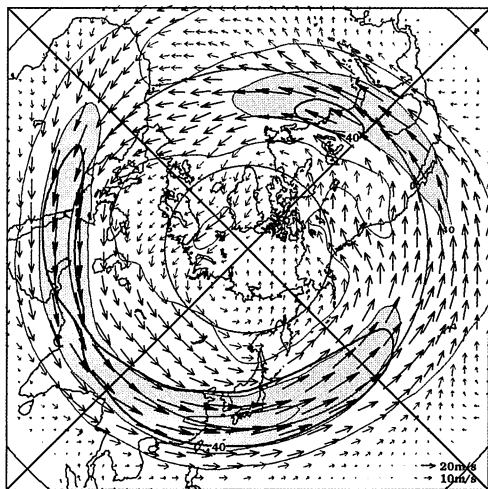
⑦ オーストラリア南東部・メラネシアの高温

オーストラリア南東部からメラネシアにかけて月平均気温は高くなった。

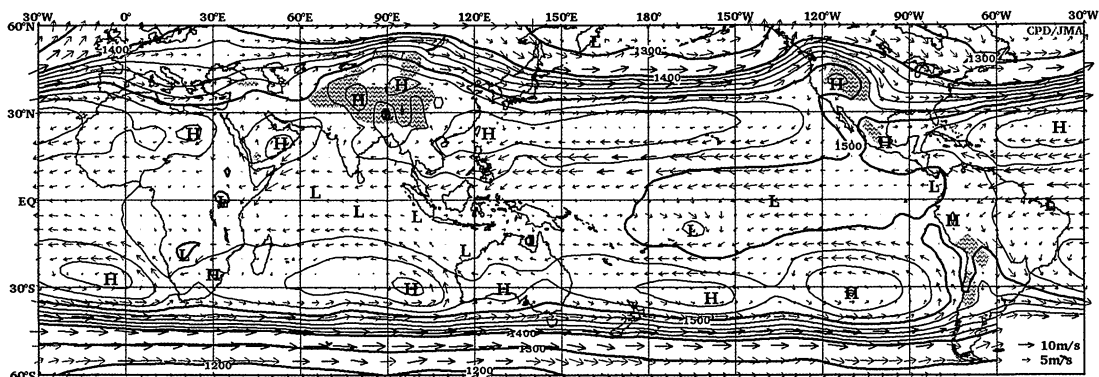
（気象庁気候・海洋気象部気候情報課 神野正樹）



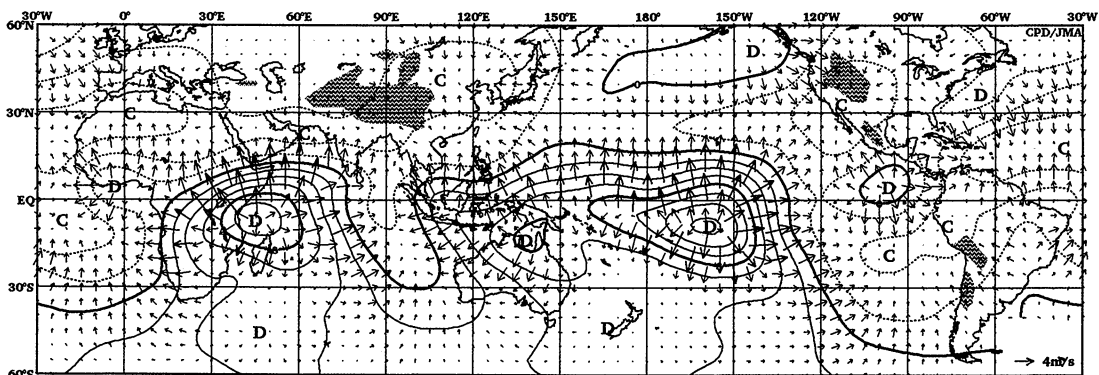
1997年12月の北半球月平均500 hPa高度および平年偏差
等値線間隔、偏差パターン間隔は60 m。平年値は1961～1990年のデータに基づくもの。



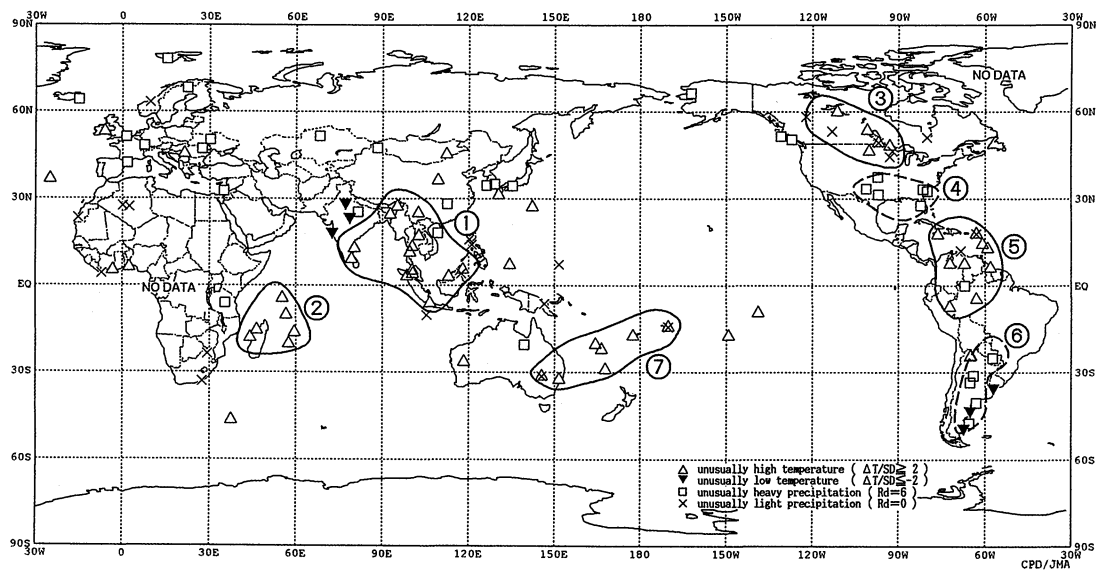
1997年12月の北半球月平均200 hPa風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s。陰影部は平年で40 m/s以上。平年値は1979～1996年のデータに基づくもの。



1997年12月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1997年12月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1997年12月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上、異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0。図中の
 番号は本文中の番号と対応している。